



ホームページは、と金クラブ将棋教室で 検索 H27. 2. 14 第141号 編集責任者・後藤克義  
二月(如月・きさらぎ)寒さのために更に着物を重ねて着るので「衣更着」という説があります。

**豆まき** 節分には炒ったお豆を「鬼は外・福は内」と蒔くことで鬼(=邪気)を払い、福を呼んで年の数のお豆を食べますね。これをする事によって一年が健康に過ごせると云われています。



**新春将棋大会**は盛大に行われました。結果は以下の通りです。

H27年 新春将棋大会

H27. 1. 17 (優勝者は1級昇段級します)

敬称略

クラス	優勝	準優勝	第3位	備考
父兄・上級A 19名	小林弘茂(一般)	森田瑛	井口雅輝	駒落ち対局
中級A・B・上級B 14名	野村權	山本開生	三浦光葵	駒落ち対局
初級・ニュークラス 19名	須田皓文	土松幹汰	木村心春	

\* プロ棋士 塚田泰明九段の指導対局 14名 (駒落ち 8勝6敗、但し 上級者には厳しかったですね)



指導対局風景

対局風景

初級・ニュークラスの部表彰

上級B・中級A・Bの部表彰

上級A・父兄の部表彰

**受けが強くなるには**、(攻めは大好きですね。しかし攻め続けて切れてしまいませんか?今回は受将棋を考へます)

1. 当たり前ですが受けられる形で構えること。

大山十五世名人は「相手の狙いを一手前に受ける」ことで棋界の覇者として君臨しました。自分が攻めることだけでなく、相手の攻め筋も読んだうえで指すことが大事ということです。

2. 形良く指すこと。

悪形を突かれると受けようがありません。特に壁型の玉は多少の駒得でも攻め切られてしまうことになりがちなので避けましょう。

3. 攻めてこられたとき、相手玉にも反撃の味付けをしておくこと

将棋の駒は前に進みやすいようにできているので、攻める側が切れずに攻め続けていると無理気味だった攻めが通ってしまって、守備側が「受けつぶれてしまう」ことになりがちです。これを避けるためには敵玉に嫌味をつけておくこと。(例えば矢倉での玉頭の突き捨てなど)

攻防の一手が敵玉に響きやすくなり、受けている間にたまった持ち駒で一気に反撃することにもつながります。

### 3人制支部対抗戦の結果

2月1日(日) 名古屋港湾会館

大会で最多参加の5チームが対局しました。午前予選・午後本戦で本戦へと金A・と金Bが進出しました。と金Aは惜しくも2回戦で、と金B(高木講師・遠山侑里さん・吉田拓海君)のチームが準優勝を致しました。過去最高の好成績で。次回は優勝の栄冠を勝ち取りたいものです。

**お知らせ** 1、4月より27年度・任意障害保険の更新が有ります。ご希望の方は同封の袋に800円入れ3月7日迄にご納付下さい。(補償などの詳細は同封致します)

2、支部会員のH27年度・会費更新が有ります。3月7日までに、継続希望者はご納付をお願い致します。

### 1月開催の昇級・新入会者

1月17日 大会優勝者の昇級 野村權君3級昇、須田皓文君11級、一般・小林弘茂様参段昇。

1月31日 昇級者、吉永晶君11級昇、川口遼介君12級昇、川端大介君8級昇。新入会、塚田広海様(一般)

**3月の開催日 愛知東邦大学・学生食堂 PM1:30開始～ 4:20終了**

3月7日(第1土曜日) 3月21日(第3土曜日)

